

れんごう中越地協

第1008号2019.7.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



連合中越地協S Jネット委員会

雪国まいたけ工場を見学して研修 午後からは、八海山の麓「魚沼の里」で第7回委員会開く

連合中越地協S J ネット委員会(萩野委員長)の委員会研修が、6月22日(土)に行われた。

S Jネット委員会では毎年、委員を対象に研修会を行っており、今年も、南魚沼支部内を訪ねた。



国まいたけの工場。U Aゼンセン雪国まいたけ労組の小杉委員長と安藤書記長から準備していただいた。

全員がキノコの工場見学は、初体験。説明を受けたあと着替えて早速工場内に入った。キノコに適した培地づくり。殺菌後に植菌、そして、こうして作られたキノコがスーパーで販売され、消費者に届いていることも認識を新たにしました。

長岡地区労働者福祉協議会 2019年度総会と事業計画と予算等を決定する
長岡地区労働者福祉協議会(以下、地区労協)の総会が、6月21日(金)午後1時30分からまちなかキャンパス長岡で開催された。

矢島会長は総会開催にあたり「これからの社会は労働力人口が減少し、AI・IOTなど人の手のかからない世の中と見ていかないとけない。地区労協として、クオリティの高い事業を継続して、18年度事業

報告した。この報告では、08年のながおかLSC設立当初から理事として活躍いただいた松田幹事(NPO法人新潟県経済雇用問題研究所理事長)の18年9月末日付辞任と豊永幹事(NPO法人米ニケーションセンター事務局長)の法人解散に伴う19年3月末退会を確認した。また、転出に伴う幹事変更を報告した。

LSC事業は、年間相談件数436件。見附地域は10件。「心と身体を守るセルフケア」には、毎回6〜7人(最多11人)参加と報告された。また、LSCチラシは2人のボランティアが年間4万9千枚程配布して事業を周知していることや4万1千枚以上の新聞折り込みしたことが報告された。この他に、見附事務所廃止後も見附市から後援を得て、広報見附への掲載やチラシ配布を継続している。

第23回目に向けた柿川に親しむ会第1回実行委員会が、6月28日(金)午後6時30分からながおか市民センターで開かれた。南代表(ぶらん21)は開催にあたり「高齢化に伴い今回で一区切りを検討してほしい」等を述べた。

また、ヤングユニオンサークル交流会は、9月27日(金)に行くこととし、女性の参加が増えるよう内容を検討していくとした。

このほか、連合新潟「第22回構成組織・第26回連合地協女性代表者会議」の参加者、柿川に親しむ会第1回実行委員会参加者を決定した。また、「農業・食料・環境問題を学ぶ」そばの種まきと蕎麦打ち体験の任務なども決定した。

次に、19年度事業として、ワーク&ライフセミナー事業(11月3日)は、3会場5団体のセッション合計138名、交流会89名が参加した。

FMながおかの実行委員会体制を確認した。次に、実施日は10月5日(土)午前中とし、3コースの歴史探訪と周辺清掃を行う事や長岡戦災資料館で空襲体験を聴講する等を決定した。

サラリーマン川柳(ボーナス日) ウラをかえせば 返済日 (我が家でも いつも隅に すわる癖) (相撲にも この技無いよね 丸投げは) (夫婦愛 いつの間にか エコモード)

